

# 津久戸

令和4年9月30日

10月号 新宿区立津久戸小学校

## 前期の姿を成長につなげる

副校長 清水 敦子

今年度の前期は、全校朝会や児童集会、遠足・夏季施設、ゲストティーチャーを招いての学習など今までできなかった様々なことを実施することができました。目を輝かせながら生き生きと友達や先生とかかわり、活動する子供たちの姿から、学級や学年という集団で学習する活動の大切さを感じました。また、様々な行事やグループ学習が子供たちの意欲と喜びがもとになった豊かな学びにつながっていることを実感しました。

さて、本日、子供たちには前期の学習や生活の様子を記した通知表「あゆみ」が配布されました。

通知表を渡された子供たちが一番気にするところは、学習の評価です。私も子供の頃に「通知表を親に見せたらどんなことを言われるのか・・・」と、学習の評価に気をとられ、ドキドキしながらあゆみを持ち帰ったことを思い出します。ご家庭で通知表を見ると、ついつい、課題に目を向けがちです。しかし、きっと、キラリとその子だけに輝くよさが表記されているはずです。通知表は、学習や生活の様子をご家庭にお知らせすると共に、子供たちが前期の自分を振り返り、課題を意識して今後の意欲につなげられるようにと願い作成しています。ご家庭では、通知表をお子さんとの今後の成長に生かせるような話をするコミュニケーションツールの一つとして活用していただけたらと思います。

ドロシー・ロー・ノルトさんの著書『子どもが育つ魔法の言葉』には、『励ましてあげれば、こどもは、自信をもつようになる』『認めてあげれば、こどもは、自分が好きになる』という言葉が紹介されています。

保護者の皆様には、子供たちが持ち帰ったあゆみを親子で一緒に見て、励まし、認めてあげてほしいと思います。

ご家庭での温かい言葉を受け、新たな自信をもち、自分を好きになった津久戸の子供たちが、さらに充実した体験や学びを進められるように学校全体で取り組んでいきます。

保護者や地域の皆様、後期もよろしく願いいたします。

## まなびの教室

まなびの教室って、どんなところだろう、という問いかけには次のように答えています。

得意なこと苦手なことは、一人ひとりちがいます。書いて学ぶことが得意な人、聞いて学ぶのが得意な人、人それぞれ違います。一人ひとりがある力を伸ばすために、それぞれに合った学び方で勉強する教室です。と答えています。

次にまなびの教室で学ぶ事は、大きく四つあります。

一つ目は、得意なことや不得意な事を分析し、その子に合う取組を提案・支援することで、自分自身を知り、自信をもつきっかけをつくります。

二つ目は、他者との良好な関係を築けるようにコミュニケーション方法などについて学びます。

三つ目は、苦しい時や辛い時に話を聞くなどして、その子に寄り添い、気持ちが整理できるように手助けをします。他者に援助を求めたりするなど、具体的な解決方法を身につけられるよう段階的に学びます。

四つ目は、体の使い方や力加減、気持ちをコントロールする力を身につけられるようなプログラムを通じて、色々な生活場面に役立てられるようにします。

また、まなびの教室の指導では、児童と教員の一对一での個別指導と、複数の児童と複数の教員による少集団指導があります。そこではソーシャルスキルトレーニングやビジョントレーニングなどを行っています。

## スクールカウンセラーから

今年度も週3日（月・木： 、火： ）勤務しています。

スクールカウンセラーの仕事は、子どもたちが困っているときに、どうすれば良いのかを考えるお手伝いをすることです。一人で抱え込まずに、誰かに話すことで気持ちが少し軽くなったり、より良い方法を見つけることができたりと、子どもたちが良い方向に進むサポートができればと思います。また、相談するという経験が、今後何か困り事や悩み事が出てきたときに、誰かに話してみようという気持ちにつながると良いと思います。そのため、授業や休み時間の様子をみながら子どもたちと関わる機会をもつなど、困ったときには気軽に相談しやすくなるよう心がけています。子どもたちにとって、スクールカウンセラーがより身近な存在となれるよう、日々努めていきたいと思っています。

また、相談室では、保護者の皆様からの相談にも応じています。お子様について、何か気になることなどありましたら、ぜひご相談ください。ご家庭での様子など、じっくりお話を伺いながら一緒に考えていけたらと思います。

## 女神湖を終えて

初めての宿泊行事。子ども達は、出発前の準備の段階から「女神湖」の話題が中心でした。班ごとに分かれて行った準備も、自分の役割を意識しながら進んで行きました。心配されていた天気も、なんとか持ちこたえてくれ、キャンプファイヤーは室内のキャンドルファイヤーになってしまいましたが、その他の行程予定通り行うことができました。時間通りに動くこと、全体で話を聞くこと、公共の物を皆で使うこと等を通して、団体行動の大切さや、協力することの大切さを実感しました。2学期始めからの学校生活の様子から、今回の女神湖夏季施設を通して、また一段と成長したように感じます。5年生も残り半分。今回の経験をもとに、最高学年に向けてさらに成長してほしいと思います。保護者の皆様におかれましては、出発前のコロナ対策へのご理解や、持ち物のご準備等、ありがとうございました。今後もよろしく願いいたします。



## 伊那移動教室に向けて

待ちに待った伊那移動教室。昨年度は、女神湖に行くことができず、子供たちの残念そうな表情が今でも忘れられません。ですから、今年度は実施できる見通しとなり余計にうれしく思います。伊那移動教室は、実行委員を中心として子供たち自身が作り上げることを大切にしています。部屋割りや、行動班、体験活動の内容など、自分たちで決めることで、より移動教室での学びを楽しみにしているようです。1日目には、中央構造線を見学し地層について学びます。その後、伊那の特産品や自然を生かした体験活動を経験します。夜は、星空観察です。2日目は、トレッキングやりんご狩り、工場や博物館の見学を予定しています。3日目は、木を伐採して自然体験活動を行います。このように、伊那の自然や歴史に存分に触れ、集団生活におけるマナーを学びます。そして何より、友達との絆を深め、小学校生活の素敵な思い出の1ページを作って欲しいと強く願っています。



### 10月の生活目標『人の気持ちを大切にしよう』

- ・気持ちのよいあいさつをしよう。
- ・外で元気に遊ぼう。
- ・友達どうし助け合おう。
- ・言葉づかいをきちんとしよう。

今月の生活目標は、「人の気持ちを大切にしよう」です。自分は楽しく関わっているつもりでも、実は相手は嫌がっていることもあります。学校では、日常の生活や、道徳の授業等で、相手の気持ちを考えることの指導を行っています。また、相手が嫌ではないと意思表示をしても、行為そのものが、人権意識を欠く言動であった場合も、同様に指導しております。何気ない言葉や悪気のない行動が、相手を傷つけてしまう可能性があるということを、ご家庭でも話題にいただけると幸いです。

(生活指導部)

### 【お願い】

- 同居するきょうだい又は親族に風邪症状がみられた場合、PCR検査を受ける前であってもお子様の登校は控えてくださるようご協力願います。
- 新型コロナウイルス感染症の影響等により、お子様のごことで不安等がありましたら、担任又は管理職にご相談ください。

